

「つなぐ」に属する施策の事前評価・意見

基本政策：次世代につなぐ

No.	施策名	評価	意見
1-1	子ども・子育て支援の充実	A	認定こども園事業 16 施設整備を最終目標にするなら、毎年の施設整備が指標でなく令和3年度までの目標数値をあげて進捗管理すべき。 おぎゃっと21 参加者アンケートの満足度指標などを用いるべき 赤ちゃんの駅登録 また以降は別施策とする必要がある。 こども医療助成、政策課題ではなく「ルーチンワーク」として指標立てする必要はない。 学童保育 数値目標を再検討する(令和3年度目標は達成している) あるいは、待機児童数を減らす目標に変更する。
		B	各重点事業の進捗度は予定通りに進んでいるが、成果指標に現状では表れていない。当初値に比較して出生数及び待機児童数は低下しているのでBとした。
1-2	学校教育の充実	A	幼稚園の再編：認定こども園事業と同様 指標見直しが望ましい。 ALT 派遣数はINPUT 指標 教育効果の指標が測定できることが望ましい。
		B	各重点事業の進捗度については順調に見える。成果指標についてもALT を授業で活用する時数の割合で当初値より改善しているためBとした。
1-3	教育環境の向上	A	
		B	小・中学校コンピュータ設備の整備以外の進捗はBで成果指標についてもほとんどが当初値より改善していることからBとした
1-4	青少年の健全育成	A	学生メンタルサポーター：不登校改善率で評価すべき
		C	各重要事業の進捗度は概ね予定通りにも関わらず、成果指標が当初値より悪化しているものが多いのでCとした。

基本政策：社会をつなぐ

No.	施策名	評価	意見
2-1	健康づくりの推進	A	パパママ：正しい生活習慣の確立ができたとする家庭数
		B	がん検診事業以外の重点事業については予定通りの進捗であり、成果指標についても当初値より改善しているものが多いので B とした。
2-2	地域福祉の充実	A	各重点事業も順調であり成果指標についても当初値より改善していることから A とした。
		A	
2-3	高齢者福祉の充実	A	相談延べ件数は高齢化社会が進展する以上増えていくのは当然。包括支援センターの役割が適切に実施されているという指標が必要 老人クラブ 加入率目標 100%でなくて活動規模などを勘案した目標数値設定。人数ではない
		C	各重点事業の進捗度も A が一つだけであり、成果指標も介護予防・生活支援サービス事業に占める多様なサービスの割合以外は当初値より低下しているため C とした。
2-4	障害者福祉の充実	A	
		B	各重点事業の進捗度がほぼ B であり成果指標についても当初値より改善が見られるので B とした。
2-5	社会保障の充実	A	各重点事業も順調であり成果指標についても当初値より改善していることから A とした。
		A	

基本政策：心をつなぐ

No.	施策名	評価	意見
3-1	人権尊重・多文化共生社会の実現	A	各重点事業も順調であり成果指標についても当初値より改善していることから A とした。
		A	
3-2	男女共同参画社会の実現	A	各重点事業も順調であり成果指標についても当初値より改善していることから A とした。
		A	最後の「会議の開催」は当然実施すべきことであり、指標化は不要ではないか？

「まもる」に属する施策の事前評価・意見

基本政策：命をまもる

No.	施策名	評価	意見
4-1	防災対策等の強化	A	指定避難所開設に必要な資機材等の整備や、災害用簡易トイレの整備は着実に進められている。簡易トイレの設置・使用に際しては、女性への配慮を求めたい。地区別津波避難計画の策定についても各地の実情に応じた支援を継続していただきたい。
		A	・目標達成に向けて、各成果指標の進捗度合、重点事業の今後の方向性ともにおおむね順調にみえるため A 評価とした。
4-2	消防・救急体制の充実	A	子どもを対象とした防火・防災教育や救命講習が充実し、着実に浸透している。発災時地域における共助のかなめとなる消防団の活性化が急務である。地域による差はあるものの、「学生消防団」「女性消防団」など、地域の多様な主体が参加しやすい工夫と、負担の少ない運営システムの構築が必要。
		B	・成果指標の現状値はおおむね良好な状況とみられるが、重点事業である住宅防火対策推進事業および消防団活性化事業の実績を踏まえ、B 評価とした。 ・上記の事業は、周知・啓発以外の対策も求められるように思われる。
4-3	医療環境の充実	A	救急医療、診療体制や地域医療、市民病院の満足度を向上させることは重要であるが、医療現場で働く人達の労働環境を整え、医療にかかわる多職種の人材育成と働き甲斐の確保にも力を注がなければならないと考える。
		B	・重点事業の進捗はおおむね順調にみえるが、成果指標の市民満足度や患者満足度が当初値からやや低下していることを踏まえ、B 評価とした。

基本政策：暮らしをまもる

No.	施策名	評価	意見
5-1	安心して暮らせる市民生活の向上	B	「安心して暮らせるまちと感じる市民の割合」が下がっている点は残念だが、交通事故発生件数、街頭犯罪発生件数ともに着実に減少していることは評価できる。消費生活センターは好立地を生かし、積極的な啓発活動（特に若年層向け）を望みたい。
		B	・重点事業の実績、および成果指標（市民満足度・苦情件数）の現状値を踏まえ、B 評価とした。
5-2	住宅環境の整備	B	既存木造住宅の耐震化も前進し、バリアフリーに配慮した市営住宅の建て替えも順調である。今後急激に進むと予想される高齢且つ単身世帯の増加に対応する意味からも、空き家対策への実効性ある取組みをスピーディに進めていただきたい。
		B	・全体の進捗はおおむね順調に見えるが、成果指標の市民満足度が当初値よりやや低下していることや、既存木造住宅の耐震化事業の実績を踏まえ、B 評価とした。 ・市営住宅供給事業について、今後の目標値が低下し先行きが不透明に思われる。
5-3	生活道路の整備	B	橋りよりの耐震化、自転車走行空間の完成路線数共に他都市の水準より低く、より一層の生活道路整備が求められる。徳島市は「車が生活の足」であるが、同時に CO2 排出削減と健康づくりの観点から、自転車の活用を推進する環境づくりも大切である。
		B	・成果指標の市民満足度が当初値より大幅に低下していることや、重点事業の実績を踏まえ、B 評価とした。 ・国の交付金等の影響を大きく受ける事業については、目標値について再検討していく必要もあると思われる。
5-4	上水道の整備	A	漏水防止対策、有収率は高く、水道管路の整備・耐震化も地道に進められている。徳島市水道ビジョン 2019 も策定され、水道事業の将来像や方向性も明確に示されている。
		A	・重点事業の鉛製給水管対策事業や水道管路整備・耐震化事業では目標値に届いていないが、成果指標の当初値に対する進捗度はおおむね順調に見えるため、A 評価とした。

基本政策：環境をまもる

No.	施策名	評価	意見
6-1	環境の保全と向上	A	多世代を対象とした環境教育の機会を設け、市としての「環境報告書」をまとめていることは評価できる。ただ、その報告書が市民の目に触れる機会は決して多くないのではないか。市の取組が進められている割に、市民の環境保護意識は高まっていない気がする。
		B	・成果指標の進捗はおおむね順調に見受けられるが、地球温暖化対策推進事業ならびに環境保全啓発事業の H30 の実績が集計中であり評価しにくいいため、現状では B 評価とした。
6-2	循環型社会・廃棄物処理の推進	B	市民一人一日当たりのごみ排出量は 1000g を超えている。リサイクル率を向上する前に、ごみそのものの発生量を抑制することが重要であり、市民の「買い方改革」「捨て方改革」とともに事業者側の「売り方改革」が不可欠である。
		B	・重点事業の実績、および成果指標の現状値を踏まえ、B 評価とした。
6-3	生活環境の向上	B	不法投棄が増加していること、ポイ捨てがなくならないことはとても残念だが、これはまず「捨てる側」のモラルや行動規範のなさが問題で、啓発と取り締まり(処分)の両面から取り組むことが必要。
		C	・成果指標の現状値がいずれも当初値よりも悪くなっていることや、重点事業の実績を鑑みて、C 評価とした。
6-4	下水道の整備	A	近年増加している豪雨による浸水被害を防ぐための取組は、着実に進められている。
		B	・全体の進捗はおおむね順調に見えるが、成果指標の市民満足度が当初値より低下していることや、排水施設しゅんせつ事業の実績を踏まえ、B 評価とした。

「おどる」に属する施策の事前評価・意見

基本政策：まちがおどる

No.	施策名	評価	意見
7-1	都市ブランドの創出	B	人口流出数などをみると、他県に魅力を感じている人が多いと感じた。一部の成果指標が高くなっていたので、B評価とした。
		B	重点事業について目標の達成、成果指標もまちまちであるため、評価をBとしました。特に「地域ブランド調査」の魅力度における順位が大幅に下がっています。「都市ブランドの創出」という施策に対して、実施している事業が整合しているか懸念しています。今後、成果指標の目標値（R8）を達成できるように、重点事業の取組内容を見直すなどの改善が必要と思われます。
		C	成果指標の現状値が当初値から悪化しているものがあり、重点項目の実績値も計画を下回っているため評価をCとした。各重点事業の実現と成果指標が直接結びつかないことが考えられる。各事業の成果・課題をきちんと分析し、改善につなげて欲しい。
7-2	計画的な都市づくりの推進	B	中心商店街の活性化が必要。シャッター街の多さが気になる。
		B	重点事業の目標を軒並み達成できているが、ほとんどの成果指標は当初値から悪化していないため、評価をBとしました。重点事業の設定自体に問題がなかったか点検が必要ではないかと思われます。
		C	成果指標の現状値が当初値から悪化しているものがあるため、評価をCとした。栈橋の整備＝にぎわい増ではないため、情報発信やニーズ調査など、どのように活用していくかソフト面での取り組みが必要。新たなまちづくり案については、検討を継続するだけでは前に進まないため、市としてどのようにしたいかビジョンを掲げて欲しい。交通網については、時代に合わせて臨機応変な対応が求められる。
7-3	観光・交流の促進	B	阿波踊り以外の観光資源が乏しく感じる。
		C	ほとんどの重点事業について目標を達成できておらず、成果指標も当初値より悪化しているため、評価をCとしました。今後、成果指標の目標値（R8）を達成できるように、重点事業の取組内容を見直すなどの改善が必要と思われます。特に多言語対応は、パンフレットのみならず、観光施設や案内表示でも必要と考えます。
		C	成果指標の現状値が当初値から悪化しており、重点項目の実績値も計画を下回っているため評価をCとした。また、各事業の実績＝目標値の達成・成果指標の達成にどの程度影響しているかが判断できない。VR体験は県や他の市町村などでも取り入れられており、それだけで目玉になるコンテンツというわけではないと考えられる。

7-4	文化財の保存と活用	A	成果指標の現状値が当初値よりも良く、全ての事業目標が計画<実績であることから、評価をAとした。全ての事業に共通して、今後どのように活用していくのか、市民からの認知をどう高めていくのが課題であると思う。
		A	各重点事業が順調に進んでおり、これらの取組が功を奏して、成果指標の達成に繋がったと考えられるため、評価をAとしました。
		A	重点事業、成果指標ともに成長している。
7-5	やさしい都市空間の整備	A	多くの公園が綺麗に整備されていて、利用しやすい。
		B	実績値が計画値を達成していない重点事業が多いものの、成果指標は当初値から進捗していることから、評価をBとした。今年度は個別事業についても計画値を上回るよう、事業を推進して欲しい。
		B	重点事業の目標は達成できていないが、成果指標は当初値から進捗しているため、評価をBとしました。 重点事業の達成と成果指標が連動していないように見えるため、中長期の視点から見て、重点事業の進捗に問題がなかったか点検が必要ではないかと思われます。

基本政策：夢がおどる

No.	施策名	評価	意見
8-1	農林水産物の振興	B	成果指標、事業目標ともおおむね順調であることから、評価を B とした。事業目標で掲げている回数や事業数を達成することで、どのような効果が見られたのかという点を掘り下げて考えて欲しい。
		B	一部の重点事業の推進は減少しているところもあるが、概ね順調であると思ったので B 評価とした。地産地消をテーマにしたイベントを開催するなど、徳島の作物を身近に感じられたらいいと思う。
		C	ほとんどの重点事業について目標を達成できておらず、成果指標の達成も半々のため、評価を C としました。今後、成果指標の目標値（R 8）を達成できるように、重点事業の取組内容を見直すなどの改善が必要と思われます。特に、入手し易いと感じる市民の割合、農業物等販売金額が低下しているため、注視する必要があると考えます。
8-2	地域産業の振興	A	地域資産のブランド化、知名度の向上の重点事業は順調であると感じる。
		B	重点事業の目標は半数が達成できているが、成果指標は半数が当初値から進捗しているため、評価を B としました。重点事業の設定自体に問題がなかったか点検が必要ではないかと思われます。特に「市内製造品出荷額」が減少しているため、留意する必要があると考えます。
		B	成果指標、事業目標ともおおむね順調であることから、評価を B とした。雇用については、雇用の拡大だけでなく、人手不足で人材確保難が続いていることへの対策との両輪で進める必要がある。
8-3	商業・サービス業の振興	B	成果指標、事業目標とも達成していない項目があるものの、一つひとつの事業内容に進捗が見られることから、評価を B とした。 ハード面の整備については、機能的な施設になるような計画立案、推進を期待している。
		B	近場にコンビニ・大手スーパーがあまり無い町もあるため、買い物を不便に感じる地域がある。
		C	成果指標も当初値より悪化しているため、評価を C としました。 ただし、商店街等活性化支援事業は、取組内容が素晴らしく、成果も出ていると考えます。今後も引き続き事業の充実に努めてほしい。

8-4	働く環境づくりの推進	B	事業の成果として、進捗が見られるため評価を B とした。重要な事業である一方で、数字としての成果が上がるのには時間がかかると思われる。適宜取り組み内容を見直しながら推進して欲しい。
		B	重点事業の推進があまり進んでいないと感じたので B 評価とした。
		C	ほとんどの重点事業について目標を達成できておらず、成果指標のうち特に、働く場が充実していると感じる市民の割合が当初値より悪化しているため、評価を C とした。

基本政策：ひとがおどる

No.	施策名	評価	意見
9-1	文化・芸術活動の振興	A	成果指標の現状値が当初値よりも良く、ほとんどの事業目標で計画＜実績であることから、評価をAとした。利用者や参加者が毎回同じ人だけにならないよう、裾野が広がるように取り組んでほしい。
		A	各重点事業が順調に進んでおり、これらの取組が功を奏して、成果指標の達成に繋がったと考えられるため、評価をAとしました。 特に、アウトリーチ活動は取組内容が素晴らしく、成果も出ています。今後も引き続き事業の充実に努めて欲しいと考えます。
		A	県内外の人も徳島の文化・芸術に触れることのできる施設(ガラススタジオ等)があるのが良いと思う。SNS上で行っているイベントの宣伝があれば利用者も増えるのでは。
9-2	スポーツ・レクリエーション活動の振興	A	ふれあい健康館でトレーニング施設を使用できるなど、スポーツに取り組める環境が多くていいと思う。
		B	成果指標、事業目標ともに悪化している項目があるものの、進捗としては動きが見られるため評価をBとした。ハード整備は計画通り進め、市民の活用を推進することも視野に取り組んでほしい。
		C	各重点事業が順調に進んでいるが、成果指標の過半が当初値より悪化しているため、評価をCとした。 今後、成果指標の目標値（R8）を達成できるように、重点事業の取組内容を見直すなどの改善が必要と思われる。
9-3	生涯学習の推進	A	駅前の市立図書館は設備が新しく綺麗で使い易い。徳島城博物館なども展示内容に変化があるので、学びやすい環境が揃っている。
		B	成果指標に改善が見られるため評価をBとした。各事業とも、工夫次第ではより良くなると思うため、今までの手法にとらわれず、様々な取り組みを試して欲しい。
		B	重点事業の目標は達成できていないが、成果指標は当初値から進捗しているため、評価をBとしました。

9-4	地域自治・協働の推進	B	成果指標、事業目標ともに改善している項目も見られるため、評価を B とした。「目指すまちの姿」の実現のためには、指標の達成だけでなく、各事業での関わりの深さが重要であるため、関係づくり等、積極的に取り組んでほしい。
		B	重点事業の目標は達成できていないが、成果指標は当初値から進捗しているため、評価を B としました。
		B	成果指標の「ボランティア等の活動が盛んであると感じる割合」は目標に近付いているが、NPO との協働に関する取り組みは更に成長が必要に思う。